

研究発表会開催通知

(平成元年12月15日～平成2年1月31日)

研究会	日	時	会場	備考
設計自動化	12月14日(木) 12月15日(金)	10:30～17:20 10:00～16:40	奈良女子大	前号参照
グラフィクスとCAD	12月14日(木) 12月15日(金)	13:00～16:40 10:00～17:00	NTT(横須賀)	同上
情報システム	1月16日(火)	13:00～17:10	機械振興会館	下記参照
データベース・システム	1月18日(木)	13:30～17:00	同上	同上
ヒューマンインタフェース	1月18日(木)	13:30～17:00	同上	同上
知識工学と人工知能	1月18日(木) 1月19日(金)	10:30～16:45 10:00～11:30	阪大	同上
自然言語処理	1月18日(木) 1月19日(金)	13:00～17:00 10:00～16:30	福岡工大	同上
コンピュータビジョン	1月25日(木) 1月26日(金)	13:00～18:00 9:00～11:00	阪大	同上
計算機アーキテクチャ	1月25日(木) 1月26日(金)	13:30～21:30 9:00～12:30	芦泉荘	同上
マルチメディア通信と分散処理	1月26日(金)	9:00～17:00	機械振興会館	同上
アルゴリズム	1月31日(水)	13:00～17:00	CSK情報教育センター	同上

◆ 第27回 情報システム研究会

(発表件数：6件)

(主査：伊吹公夫，幹事：鷹野 澄，槻木公一，西原良一)

日時 平成2年1月16日(火) 13:00～17:10

会場 機械振興会館 地下3階 1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，JR：浜松町下車，バス：渋谷-東京タワー線東京タワー，渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車。Tel. 03 (434) 8211]

議題 特集：データとソフトウェアの流通

(1) 内外におけるデータベースの流通状況 鈴木茂樹 (JIPDEC)

[概要] わが国でも、ビジネス分野を中心に、DBの流通が盛んになった。しかし、米国と比較すると、立ち遅れが目立つ。

(2) CD-ROMによる地震データの流通 鷹野 澄 (東大)

[概要] 地震学分野における大量の地震データの流通手段としてのCD-ROMの利用状況と問題点について論じる。

(3) ソフトウェアの流通 石原寿夫 (SOFTIC)

[概要] プロダクト(パッケージ)の流通規模は欧米に比して十分でないと言われているので、その原因について考察する。

(4) PDS最新事情 醍醐 勲 (日経BP社)

[概要] PDSの現状を日本と米国の相違を交えながら考察する。

- (5) 超流通におけるソフトウェアの料金体系 植木伸一 (筑波大)
〔概要〕 会計処理の自動化によって実現される、ユーザに快適なソフトウェアの料金体系とサービスを提案する。
- (6) 超流通アーキテクチャのためのプロトタイプII 河原正治 (筑波大)
〔概要〕 コプロセッサに内蔵した、超流通アーキテクチャのための権利管理機構の論理的構造について解説する。

◆ 第75回 データベース・システム研究会

(発表件数：4件)

(主査：牧之内顕文，幹事：大里博志，清木 康，佐藤和洋)

日 時 平成2年1月18日(木) 13:30~17:00
会 場 機械振興会館 地下3階 1号室 (所在地は前記参照)
議 題

- (1) 証明手続きとしてのデータ論理 三浦孝夫 (産能大)
〔概要〕 データモデルを論理によって形式化し、その枠組みで完全な証明手続きとしても利用できることを述べる。
- (2) エクステンジブル DBMS における最適化処理についての考察 関根 裕，林 知博，弘末清悟(富士通)，鎌田伸一(富士通神戸エンジニアリング)
〔概要〕 エクステンジブル DBMS における最適化処理の構成について、若干の実験結果を踏まえた考察を述べる。
- (3) 文献データベースの知的インタフェースにおける検索結果からの問合せ理解 木下茂行，加納康男，高橋友一，岸野文郎 (ATR)
〔概要〕 あいまいな問合せ文を許す知的インタフェースにおける検索結果からの利用者の問合せ理解について述べる。
- (4) オブジェクト指向データベースを用いたマルチメディア文書の管理 堀尾祥久，津田和幸，平川正人，田中 稔，市川忠男 (广大)
〔概要〕 オブジェクト指向データベースシステムにおけるマルチメディア文書の管理について述べる。

◆ 第28回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数：5件)

(主査：木村 泉，幹事：角田博保，黒須正明，小橋史彦)

日 時 平成2年1月18日(木) 13:30~17:00
会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)
議 題

- (1) 項目間の主観的関連性の計測システム 宇津木明男 (製科研)
〔概要〕 適応型インタフェースを構成するために必要なユーザ特性を計測するための新しい方法を提案する。
- (2) 手書きスケッチによるユーザインタフェースのプロトタイピング 谷 正之 (日立)
〔概要〕 手書入力したスケッチ図を直接利用してユーザインタフェースのプロトタイプを作成する方法を提案する。
- (3) メタユーザインタフェースを構築支援できるユーザインタフェース管理システム 荒井俊史 (日立)
〔概要〕 ユーザインタフェース (UI) を手直しする手段 (メタ UI) の構築支援が可能な UI 管理システムを提案する。
- (4) ユーザインタフェース構築用イベント駆動型言語の開発 川島正徳，今宮淳美，坂本忠明 (山梨大)
〔概要〕 マルチスレッド方式の UI 記述用イベント言語を開発した。また、この言語に基づく UIMS の構造を示す。
- (5) OS/omicron ウィンドウシステム「出島」について 堀 素史，小松 徹，並木美太郎，高橋延匡 (農工大)

〔概要〕 OS/omicron 環境下でユーザインタフェースの研究, 開発を可能にするウィンドウシステム「出島」について述べる.

◆ 第 68 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 諏訪 基, 幹事: 中嶋秀之, 西田豊明, 原口 誠)

日 時 平成 2 年 1 月 18 日 (木) 10:30~16:45

1 月 19 日 (金) 10:00~11:30

会 場 大阪大学 基礎工学部 国際棟セミナー室 I

〔豊中市待兼山町 1-1, 大阪駅より阪急宝塚線: 石橋下車, 徒歩 15 分, または阪急宝塚線: 蛍が池下車, バス: 北千里行 10 分. Tel. 06 (844) 1151 (山田)〕

1 月 18 日 (木) —10:30~12:00—

議 題

(1) 非単調知識処理システム BMS とその応用

森馬純一, 馬場口登, 手塚慶一 (阪大)

〔概要〕 デフォルト型の知識を扱うことのできる知識処理システムを提案し, その応用について述べる.

(2) 意味ネットワークを用いた設計過程の追跡

佐藤 隆, 島 健一 (ATR)

〔概要〕 ソフトウェア設計時の発話内容から対象知識を取り出す実験と, 知識の変化を追跡するツールとについて述べる.

—13:30~16:45—

(3) 場所依存的な記号によるネットワーク構成とその利用について

岡 隆一 (電総研)

〔概要〕 図形的ネットワークの学習の構成法, 記号の多義の意味表現, 明示的推論, 暗示的推論方式について述べる.

(4) 通信ソフトウェアに対する要求理解の一手法

横田政憲, 島 健一 (ATR)

〔概要〕 通信サービスを動作系列と捉え, 要求を既存サービスの知識と比較して理解する手法について述べる.

(5) データ変更の履歴にもとづく照合ネットワークの動的変形

植田栄治, 水上孝一 (広大)

〔概要〕 ネットワークに構造化された条件要素の照合順序を動的に変更することにより, P・S の条件照合を効率化する.

(6) プログラム理解によるプログラミングチュータ

海尻賢二 (信州大)

〔概要〕 初心者を対象とした, プログラム理解に基づくプログラミングの知的チュータについて述べる.

1 月 19 日 (金) —10:00~11:30—

(7) 定性/定量推論による同期型待ち行列ネットワークのボトルネック診断と改善

志田圭介 (上智大), 本位田真一 (東芝), 伊藤 潔 (上智大)

〔概要〕 同期型サーバを導入した待ち行列ネットワークのボトルネック診断と改善を定性推論と定量推論により行う.

(8) ペトリネット到達可能問題に対する線形整数計画法と時制論理の適用

伊藤 潔 (上智大), 本位田真一, 内平直志 (東芝)

〔概要〕 ペトリネット到達可能問題での発火系列を線形整数計画法で求め, 必要に応じて発火系列を時制論理により抑制する手法.

◆ 第 75 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 14 件)

(主査: 田中穂積, 幹事: 田中裕一, 徳永健伸, 内藤昭三)

日 時 平成 2 年 1 月 18 日 (木) 13:00~17:00

1 月 19 日 (金) 10:00~16:30

会 場 福岡工業大学 言語情報工学研究所

〔福岡市東区和白東 3-30-1, 博多駅より JR (鹿児島本線): 筑前新宮下車 (20 分), 徒歩 5 分, または天神より西鉄バス (系統 26): 福岡工大前下車 (1 時間), 徒歩 5 分, Tel. 092 (606) 3131 内 296 (横田)〕

1月18日(木)

議 題

- (1) Discrimination network 上での増進的曖昧性解消について 奥村 学, 田中穂積(東工大)
〔概要〕 任意の順序で得られる制約に基づき弁別ネットをたどり, 意味的曖昧性を増進的に解消する手法について述べる。
- (2) 情報伝達を考慮した統語制約 福本文代(ICOT)
〔概要〕 間接疑問を許す述語の情報伝達の面から見た統語制約について述べる。
- (3) 疑問表現の統語制約 佐野 洋, 福本文代(ICOT)
〔概要〕 文法的特徴ではなく, 情報伝達の面から見た疑問表現の統語上課せられる制約について述べる。
- (4) 述語形式を媒介とする自然言語文の意味抽出方式 丹羽芳樹(日立)
〔概要〕 述語形式を介した自然言語文の述語論理式への翻訳を提案し, それに基づいて不定名詞句の量化を定式化する。
- (5) 機械翻訳電子メールシステム 西野文人, 中村直人(富士通研)
〔概要〕 電子メールを利用した機械翻訳システムについて, その意義・構成および実際の運用から得られた知見を述べる。
- (6) 国際パーキング技術ワークショップ参加報告 松本一則(KDD), 小暮 潔(ATR)
〔概要〕 パーキングについて広く議論を行うために開かれたワークショップの参加報告を行う。

1月19日(金)

- (7) 自然言語意味学習の試み 白石正人(福岡教育大), 横田将生(福岡工大)
〔概要〕 自然言語(英語)を対象とした意味レベルでの学習システムを試作した。この意味学習の試みについて報告する。
- (8) 簡易型中日機械翻訳実験システムについて 寺田栄男, 孫 東 恢, 田町常夫(福岡工大)
〔概要〕 技術文献を対象としたパソコンによる中日機械翻訳実験システムの概要について述べる。
- (9) 大規模辞書を使った日本語形態素解析 望月和広(EDR)
〔概要〕 大規模辞書を利用した日本語形態素解析における, 必要な辞書情報や, 有効な解析手法などについて述べる。
- (10) 文章解析アクセラレータ(1)一形態素抽出マシンの試作一 福島俊一, 大山 裕, 宮井 均(日電)
〔概要〕 文章解析専用ハードウェアを提案し, その第1ステップとして試作した形態素抽出マシンの構成・性能を報告する。
- (11) 連体修飾句の訳し分け 北村 博(日本IBM)
〔概要〕 日英機械翻訳での連体修飾句の処理につき発表する。特に関係節で訳せない特殊名詞の統一的処理につき発表する。
- (12) 隠喩理解一命題分解によるニューラルネットワークの利用一 土井晃一, 佐川浩彦, 田中英彦(東大)
〔概要〕 命題分解した入力をニューラルネットワークに与えることにより隠喩理解を行う方法について述べる。
- (13) 概念辞書の作成 田中康仁(姫路短大), 吉田 将(九工大)
〔概要〕 自然言語処理を高度化するためには概念辞書が必要である。この概念辞書の作成について述べる。
- (14) 台湾の計算言語学会の報告 田中康仁(姫路短大), 吉田 将(九工大)
〔概要〕 台湾の計算言語学会に出席したので内容を報告する。また, 台湾での機械翻訳の状況の一部を報告する。

◆ 第64回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 鳥脇純一郎, 幹事: 大田友一, 田島讓二)

日 時 平成2年1月25日(木) 13:00~18:00

1月26日(金) 9:00~11:00

会 場 大阪大学 産業科学研究所 講堂(大阪大学吹田キャンパス)

〔茨木市美穂ヶ丘 8-1, 阪急北千里線: 北千里下車, 徒歩15分. Tel. 06 (877) 5111 内 3561~2〕

1月25日(木)

—13:00~17:00—

議 題

- (1) 画像処理関連文献データベースの第4次収集と配布 コンピュータビジョン研究連絡会
〔概要〕 国内画像処理関連文献の第4次収集及びDB化を行った。研究動向の変遷及びDBの取り扱いについて述べる。
- (2) パノラマ表現を用いた環境認識 鄭 絳 宇, 辻 三郎 (阪大)
〔概要〕 移動ロボットの長距離ナビゲーションのため、経路のシーンをパノラマビューで表現し、記憶する。それに基づいて経路の認識を行う。
- (3) 多重オプティカルフロー抽出における多重度の判定と領域統合 志沢雅彦, 間瀬健二 (NTT)
〔概要〕 多重オプティカルフロー抽出における多重度の判定と領域統合を固有エネルギーの評価に基づいて行う。
- (4) カラー画像の色分類 富永昌治 (大阪電通大)
〔概要〕 カラー画像を知覚的に様な色領域の集合に分割するための色分類法について述べる。
- (5) Hilditchの細線化の並列処理 和田 潔, 井宮 淳 (金沢大)
〔概要〕 Hilditchの細線化アルゴリズムを数理形態学によって記述し、その並列処理法を導く。
- (6) 平面図形の正則化多角形近似 青木 伸, 出口光一郎 (東大)
〔概要〕 線図形が本来的に持つ大局的な形状特徴を抽出する評価関数に、正則化手法を導入した多角形近似を提案する。
- (7) シルエットによる対象物認識 北橋忠宏, 尹 巨 煥 (阪大), 古林 貴 (三菱重工)
〔概要〕 シルエットの2次元画像としての分解法についての考察と、物体の分離・3次元構造復元への応用について述べる。

—17:30~18:00 (見学)—

見学: 北橋研究室 (阪大)

1月26日(金)

—9:00~11:00—

- (8) 招待講演: センサ統合と環境モデルの構築 浅田 稔 (阪大)
〔概要〕 ビジョンをメインとするセンサ統合の各手法と、それらを利用した環境モデル構築の手法について解説する。
- (9) 境界追跡型ラベリングボード
石山 豊, 船岡千洋, 久保文雄 (スタンレー電気), 富田文明 (電総研), 高橋裕信 (三洋電機)
〔概要〕 境界追跡によるラベリングボードを試作した。本ボードの概要と実験結果について報告し、有効性を示す。
- (10) パターン抽出を利用した文書画像の自動訂正方式 河内谷幸子, 武田晴夫 (日立)
〔概要〕 電子ファイリングシステム内の図面・文書画像に、高画質で操作性のよい追記・修正を行う方式を示す。

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (パターン認識と理解研究会) との共催で開催されます。上記会告は、11月10日現在の申し込みによるもので上記期日以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌12月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第72回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 14件)

(主査: 田中英彦, 幹事: 後藤厚宏, 長谷川隆三, 横田 実)

日 時 平成2年1月25日(木) 13:30~21:30 1月26日(金) 9:00~12:30

会 場 福井県・芦原温泉 芦原荘 (ろせんそう)

〔福井県坂井郡芦原町堀江十楽 1-1, 公立学校共済組合芦原保養所, JR (北陸本線): 芦原温泉下車, 京福電鉄バス (東尋坊/芦原湯町行き): 芦原湯町下車, 徒歩5分, または福井より京福電鉄: 芦原湯町下車, 徒歩5分, 北陸自動車道 金津インターより車で15分. Tel. 0776 (77) 3200〕

1月25日(木)

—13:30~17:40—

議 題 特集:メモリ・システム・アーキテクチャ

- (1) 密結合マルチプロセッサ記憶階層性能評価手法 長坂 充(日立)
〔概要〕 タスクスケジューリングとデータ一致制御のシミュレーションによる、マルチプロセッサの記憶階層性能評価手法。
- (2) マルチプロセッサキャッシュプロトコルの一評価法—小規模プロトタイプ機によるシミュレーション 砂田佳久, 相原玲二, 山下雅史, 阿江 忠(広大)
〔概要〕 マルチプロセッサキャッシュを、プロトタイプ機 UNIP 上のシミュレーションにより評価したので報告する。
- (3) 二階層キャッシュメモリのコンシステンシプロトコル 浅野滋博(東芝)
〔概要〕 密結合共有メモリ型マルチプロセッサの二階層キャッシュメモリのコンシステンシプロトコルについて述べる。
- (4) キャッシュ操作明示化の提案 佐藤正樹, 有田隆也, 曾和将容(名工大)
〔概要〕 キャッシュ操作をプログラムで行う新しいキャッシュ・システムの基本原理を提案する。
- (5) Linked-Data のその構造に基づく記憶空間の構成 前川博俊, 安田弘幸, 實藤隆則, 沢田佳明, 福田譲治(ソニー)
〔概要〕 効率の良い二次記憶アクセスや GC を実現できる Linked-Data のための記憶空間の構成と管理について述べる。
- (6) 高速アクセスメモリ QRAM 新島秀人, 大庭信之(日本 IBM)
〔概要〕 MPU と直接ハンドシェイクする MAP 構造の DRAM を用いた、高速なメモリシステムを提案する。

—19:30~21:30—

- (7) SIMP(単一命令流/多重命令パイプライン)方式に基づくスーパスカラ・プロセッサ「新風」の命令供給機構 原 哲也, 久我守弘, 村上和彰, 富田眞治(九大)
〔概要〕 「新風」の命令供給機構の構成, ならびに, 命令キャッシュ及び分岐ターゲットバッファの性能について述べる。
- (8) PSI-II のメモリ・アーキテクチャ評価 中島 浩(三菱電機)
〔概要〕 PSI-II のメモリ・アクセスの動特性を解析し, メモリ・アーキテクチャの評価を行った。
- (9) 意味ネットワークマシン IXM における並列連想記憶 国分明男, 樋口哲也, 古谷立美(電総研)
〔概要〕 IXM における並列連想記憶のアーキテクチャ, 連想メモリ上の演算性能について述べる。

1月26日(金)

—9:00~12:30—

- (10) マルチプロセッサシステムによるアセンブリ言語トレーニング 柳瀬龍郎, 秋山哲治(福井大)
〔概要〕 共有メモリ結合マルチプロセッサを使ったアセンブリ言語学習システムの実現例とその応用について述べる。
- (11) 可変構造型並列計算機のローカル/リモート・メモリ・アーキテクチャ 甲斐康司, 森真一郎, 村上和彰, 福田 晃, 富田眞治(九大)
〔概要〕 可変構造型並列計算機のローカル/リモート・アーキテクチャ, およびメモリ・トランザクションについて述べる。
- (12) CAM に基づく機能メモリ型並列プロセッサアーキテクチャ FMPP 辻本泰造, 安浦寛人, 田丸啓吉(京大)
〔概要〕 CAM の演算回路を強化した SIMD 方式の機能メモリ型並列プロセッサを考案しその応用について述べる。
- (13) メモリ型並列計算機構をもつ計算システムについて 高木直史, 武永康彦, 矢島脩三(京大)
〔概要〕 アドレスの部分デコードによる複数のセルへの並列アクセスが可能なメモリをもつ新しい計算機構を提案する。

(14) ダイナミック RAM 動的リフレッシュ法の応用 松井祥悟 (神奈川大)

〔概要〕 動的リフレッシュ法の実装法, 応用法を示し, リフレッシュ動作の回数減少効果について検討する。

* 今回の研究会は, 参加者全員が会場に合宿する形式でおこないます。研究会に参加される方で, 宿泊施設芦泉荘 (1泊2食, 懇親会費込で12,000円程度) を予約される方は, 事前に参加申込みが必要です。発表者, 参加者とも, 下記あてに平成元年12月25日(月)までに申込みをしてください。なお, 宿泊予約受付は, 定員(50名)に達し次第打ち切らせていただきます。

・申込み問合せ先 606 京都市左京区吉田本町 京都大学・工学部・情報工学教室 柴山 潔
Tel: 075 (753) 5383 (直), FAX: 075 (753) 5379, Junet: shibayam@kuis.kyoto-u.ac.jp

◆ 第44回 マルチメディア通信と分散処理研究会 (発表件数: 11件)

(主査: 松下 温, 幹事: 水野忠則, 山崎晴明, 若山博文)

日 時 平成2年1月26日(金) 9:00~17:00

会 場 機械振興会館 6階65号室 (所在地は前記参照)

—9:00~11:30—

議 題

(1) リアルタイム環境における ASN.1 符号化方式の一考察 勝丸郁子, 福澤淳二, 寺田松昭 (日立)

〔概要〕 リアルタイム制御用通信アーキテクチャを対象とした ASN.1 符号化方式を提案し, その処理性能について述べる。

小特集1: グループウェア

(2) チームウェアの必要性とその動向 松下 温, 横山光男, 岡田謙一 (慶大)

〔概要〕 グループで仕事を進めることはあらゆる分野で必要であるにもかかわらず, チームのための支援環境はまるで考察されていない。米国で進行しているグループウェアのコンセプトを概観する。

(3) クレアモント大学院におけるグループ DSS システム 石黒広洲, 松下 温 (慶大)

〔概要〕 意志決定支援をグループのメンバに拡張したクレアモント大学で進められているシステムを紹介する。

(4) アリゾナ大学のグループ DSS システム 香西敏弘 (東芝), 松下 温 (慶大)

〔概要〕 グループ DSS の代表的なシステムとして注目されているアリゾナ大学のシステムを紹介する。

(5) パソコン用グループウェア-CROSS POINT 小原 茂 (日電オフィスシステム), 松下 温 (慶大)

〔概要〕 電子メール, 電子会議などを統合したパソコン用グループウェア Cross-Point を紹介する。

—13:00~17:00—

小特集2: ISDN の実現方式とサービスシステム

(6) チュートリアル: ISDN の技術動向 河辺侯一 (NTT)

〔概要〕 ISDN 構築にいたる技術的背景とシステムの概要, 本格展開に向けた諸課題および将来動向について紹介する。

(7) ISDN を用いた OSI 通信の実現法 飯作俊一, 石倉雅己, 鈴木健二 (KDD)

〔概要〕 各種 OSI 通信の ISDN 上での実現方法について, 一例としてパソコン用 ISDN ボードについて述べる。

(8) ISDN ワークステーションの構成方法の提案 齊藤 徹, 星 徹, 岩見直子 (日立)

〔概要〕 ISDN ワークステーションにおける通信制御方式および音声通信方式の構成法について述べる。

(9) ISDN を利用した会議形・放送形通信システムの一検討 印藤清志, 中野慎夫 (NTT)

〔概要〕 パソコン用 ISDN 通信カードを用いたマルチメディア通信の一応用例として1対n形の通信会議システムの検討結果について報告する。

(10) ISDN 利用の遠隔相談端末システムの構成 富久昭弘, 小野田守, 壁谷喜義, 宮原末治 (NTT)

〔概要〕 マルチメディアを用いて各種コンサルティング業務に適用される端末システムの検索・通信方式を提案する。

(11) 対話型サウンド情報提供システム 山階正樹 (NTT)

〔概要〕 ISDN を利用してコンサート情報等を対話的に検索し, 音楽・映像を視聴するシステムの構成法等を述べる。

◆ 第13回 アルゴリズム研究会

(発表件数：6件)

(主査：野崎昭弘，幹事：西関隆夫，中村勝洋，今井 浩)

日 時 平成2年1月31日(水) 13:00~17:00

会 場 CSK 情報教育センター

[東京都多摩市諏訪 2-5-1, 京王線, または小田急線: 永山下車, 徒歩5分. Tel. 0423 (72) 7111]

議 題

- (1) 化学構造に対する多項式時間ラベリング・アルゴリズム 阿久津達也(機械技術研)
〔概要〕 立方異性対を区別できるようなインデックスを化学構造の原子数に関する多項式時間で計算するアルゴリズムを示す。
- (2) トポロジ変化時の重み最小生成木を再構成する分散アルゴリズムについて 朴 政 鎬, 増澤利光, 萩原兼一, 都倉信樹(阪大)
〔概要〕 ネットワークのトポロジが変化したとき, 重み最小生成木を再構成する効率のよい分散アルゴリズムを提案する。
- (3) 故障発生時における計算機網の連結性を判定する分散アルゴリズム 和田浩一, 守谷幸男, 川口喜三男(名工大), 森下正浩(立石電機)
〔概要〕 故障が発生した計算機網が連結か非連結かを判定する分散アルゴリズムの存在性および効率について考察する。
- (4) 多重グラフの辺連結度を求めるアルゴリズム 永持 仁(豊橋技科大), 茨木俊秀(京大)
〔概要〕 辺連結度 λ を n 回のグラフ探索により $o(m+\lambda n^2)$ 時間で決定する (m, n は多重グラフの辺数, 点数である)。
- (5) 汎関数の多項式時間階層について 山上智幸(立大)
〔概要〕 汎関数に拡張された多項式時間階層の基本的な性質について述べる。
- (6) 第30回 IEEE 計算機科学基礎シンポジウム (FOCS) 報告(予稿無し) 浅野哲夫(大阪電通大)
〔概要〕 標記国際会議の報告を行う。

◆ 自然言語処理研究会

第76回 研究会は, 平成2年3月16日(金)に開催予定でしたが, 全国大会と重なるため, 開催日を**3月9日(金)**に変更します。開催場所は予定どおり**大阪大学**です。

発表をご希望の方は, 研究会発表申込書に発表題目と発表者名, 50字以内の概要を記入のうえ, 学会事務局研究会担当までお申し込みください。

◆ ヒューマンインタフェース研究会

第29回 研究会を下記のとおり開催します。関連研究施設の見学もありますので積極的な参加, 研究発表をお願いします。

発表をご希望の方は, 研究会発表申込書に発表題目と発表者名, 50字以内の概要を記入のうえ, 学会事務局研究会担当までお申し込みください。

日 時 平成2年3月9日(金)

会 場 **A T R** (京都府相良郡精華町)

論文賞候補の論文推薦のお願い

平成元年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、論文の専門分野、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本会論文賞係宛お送りください。

論文選定条件

1. 選定範囲および推薦数

昭和63年10月から平成元年9月までの間に「情報処理学会論文誌」(Vol. 29, No. 10~Vol. 30, No. 9) および「Journal of INFORMATION PROCESSING」(Vol. 11, No. 3~Vol. 12, No. 2) に発表された論文の中から1編。

2. 推薦資格

本会正会員に限ります。

3. 締切日

平成2年1月31日(水)

表彰規程(抜粋)

第3章 論文賞

- 第9条** 論文賞は、本会の機関誌に発表された論文のうちとくに優秀なものを選び、その著者に贈呈する。
- 第10条** 表彰する論文は、原則として毎年4編とするが、編数は事情により変更することができる。
- 第11条** 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前前年の10月から前年の9月までの間に発表されたものであることを要する。
- 第12条** 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。
- 第13条** 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。
- 第14条** 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文1編につき30,000円とする。

第40回全国大会(平成2年前期)論文集予約について

標記全国大会は既報のとおり、来る3月13日(火)~16日(金)に早稲田大学・大隈講堂と理工学部(東京都新宿区大久保)で行われます。東京開催ということで盛会が予想されます。

つきましては、論文集が非常に分厚くなりますので、購入方法は従来にまして予約制を徹底いたします。下記要領で早目にお申込みくださいますよう、ご協力をよろしく願います。

記

○本号綴込みの「平成2年前期第40回全国大会論文集予約申込書」により、平成2年2月5日(月)までに、事務局へ直接予約申込みください。

○予約価5,000円(定価6,000円,送料950円)

注)プログラムは2月号(Vol. 31 No. 2)に掲載いたしますので、登壇発表者はとくにご注意ください。

「1990 年情報学シンポジウム」開催について

- 期 日** 1990年1月17日(水)~18日(木) 9:45~17:00
- 会 場** 日本学術会議講堂
106 東京都港区六本木 7-22-34 (地下鉄千代田線乃木坂駅前)
- 目 的** 科学における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため、データ・知識に関する基本的問題とその整備・利用に関する討議を行い、研究交流をはかる。本シンポジウムは1984年以来毎年開催されている。
- 共同主催** 日本学術会議 情報学研究連絡委員会・学術文献情報研究連絡委員会・学術データ情報研究連絡委員会
情報工学研究連絡委員会
情報処理学会・情報知識学会・人工知能学会・日本医学会・日本化学会・日本数学会・日本地理学会・日本物理学会
- 後 援** 化学情報協会・学術情報センター・計測自動制御学会・国際電信電話(株)・情報科学技術協会・情報通信学会・電子情報通信学会・日本医療情報学会・日本科学技術情報センター・日本機械学会・日本金属学会・日本原子力学会・日本工学会・日本材料科学会・日本材料学会・日本生化学会・日本電信電話(株)・日本動物学会・日本農学会・日本分子生物学会・日本分析化学会・日本薬学会
- 参加申込** 氏名、連絡先、職名、資料必要の有無を参加申込書に記入し、1989年12月20日までに下記に申し込む(当日受付可。ただし資料の不足の際は事前登録者を優先)
- 参加費**(資料代として) 共催学協会員5,000円 学生1,500円 一般7,000円
- 申 込 先** 情報処理学会 シンポジウム係
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F Tel 03 (505) 0505 FAX 03 (584) 7925

~~~~~プログラム~~~~~

1月17日(水)

- 特別講演** (10:00~11:00) 司会 米田 幸夫(東海大)
情報学の現状と展望 藤原 譲(筑波大)
- マルチメディア情報** (11:00~12:20) 座長 鈴木 健司(NTT)
- オブジェクトベース述語論理型言語とその処理系の開発
畑中 正行, 藤田 岳久, 杉本 重雄, 田畑 孝一(図書館情報大)
 - 光ディスクを中心とした音声データベースシステム 牧野 正三, 城風 敏彦, 城戸 健一(東北大)
 - 丸め併合法を用いた一般化 Hough 変換におけるデジタル画像からの円図形の検出
塩野 充(岡山理大)
 - 連続画像の因子分析による動態機能解析 一肺換気シンテグラムを例にして—
立川 光, 中原壽喜太, 土井 昭孚, 田辺 正忠(香川医大)
(屋 食)

生物・医学情報 (13:20~15:00)

- 座長 菅原 秀明(理化学研究所)
- 解剖学における情報処理体系 養老 孟司, 増田 弥生(東大)
 - 英語医学文献の機械翻訳の研究 一辞書登録とそれによる翻訳レベルの向上の定量的評価
木内 貴弘, 開原 成允(東大)
 - 蛋白質の属性データベース 沖林 文規, Carl S. Jone, 近藤 淑, 姥澤 愛子, 次田 皓(東理大)
 - 蛋白質のデータベースを活用して生物造化を拓く 大塚 仁也, ほか4名(東理大)
 - コンピュータ解析による大腸菌遺伝子のゲノム上の位置と転写方向の決定
渡辺日出海, 国沢 隆(東理大)

(コーヒー・ブレイク)

情報システムの開発に向けて (15:20~17:00)

座長 石塚 英弘 (図書館情報大)

- データベースの意味表現と知的アクセス
上原 祐介, 渡邊 豊英, 吉田 雄二 (名大), 福村 晃夫 (中京大)
- LA システム開発用言語
今村 俊雄, 小田 建夫 (塩野義製菓)
- データベースから応用プログラムへの数値データ引き渡しの自動化
—数値情報データベースの新しいサービス方式をめざして—
磯本 征雄 (名古屋市立大)
- ニューラルネットワークの薬学への応用
青山 智夫 (日立コンピュータエンジニアリング), 鈴木 雄二, 市川 紘 (星薬科大)
- 時間を含む情報に関する考察
幡鎌 博 (富士通)

1月18日 (木)

人文社会系データベース (10:00~12:00)

座長 安澤 秀一 (国文学研究資料館)

- 日本語テキスト・データベースの作成・利用ツールについて
堀池 博巳, 星野 聡 (京大)
 - べた書き入力に適した並行型パーサによる中国語文解析
寺下 陽一, 二口 邦夫, 鈴木 悟 (金沢工大)
 - G. H. ミードのテキスト・データベース—その紹介と若干の分析例—
後藤 将之 (東大)
 - アイス・データベース—人文社会科学への応用—
熊本 孝 (北大)
 - AI 技術を応用した経済統計データベース利用支援システム
賀山 茂子, 高藤 淳, 川崎 浄正 (CSK 総合研究所)
 - 多部門産業モデル開発に関するデータベースのコンセプトとデザイン
鶴野 公郎 (筑波大)
- (昼 食)

特別講演 (13:00~14:00)

司会 田畑 孝一 (図書館情報大)

情報学に期待するもの

渡辺 茂 (都立科学技術大)

環境系データベース (14:00~15:00)

座長 久保 幸夫 (お茶水女子大)

- 地球環境研究 (気候研究) のためのデータの整備に向けて
増田 耕一 (東大)
 - 学術研究用データベース作成上の問題 —歴史天候データベースの作成を通して—
吉村 稔 (山梨大)
 - 地図情報処理の都市計画への応用
澤田 順夫, 沼上 英雄, 長尾真紀子 (東芝)
- (コーヒー・ブレイク)

理工系データベース (15:20~19:20)

座長 岩田 修一 (東大)

- 法律文書「既存化学物質名簿」の検索
工藤 喜弘, 境 修 (山形大)
- 腐食環境中の低歪速度引張試験に関する材料データベースの試用
塚田 隆, 横山 憲夫, 中島 甫 (日本原子力研究所)
- 鉄道における故障・事故データベースの構築と安定性評価
福田 久治 (鉄道総合技術研究所)

総括 (16:20~17:00)

坂井 利之 (竜谷大)

「1990 情報学」シンポジウム

参加申込書

1989年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

_____ Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○資料代 (該当するものを○印でかこむ)

会員 5,000 円 一般 7,000 円 学生 1,500 円

○論文集のみ (上記資料代プラス 400 円) 冊

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ.)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

情報技術標準化フォーラム

「プログラム言語とデータベース」開催について

情報技術の分野では、ISO/IEC JTC 1 における国際標準化の重要性が急速に拡大しています。この国際対応を担当している当学会情報規格調査会では、進展の著しいテーマについて、「情報技術標準化フォーラム」という統一表題のもとにフォーラムを開催しています。今回は、「プログラム言語の標準化」(SC 22 担当)と「データベースの標準化」(SC 21/WG 3 担当)を取りあげます。前者では日本語を含む多国語の扱い、後者ではデータベース関係の4つの国際標準を進展させることが課題になっています。これらについてそれぞれの委員会の方々に報告していただき、国際標準化を前進させるための討議を行います。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 1990年1月23日(火) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館 地下2階ホール
主 催 社団法人 情報処理学会 情報規格調査会 (IPSJ/ITSCJ)
参 加 費 正会員および規格賛助員社員 8,500円, 非会員 10,500円, 学生会員 1,200円
申込締切 1990年1月17日(水) (定員200名になり次第締切らせていただきます)

プ ロ グ ラ ム

9:00~9:10	〔あいさつ〕 〔プログラム言語の標準化〕	大桑 邦夫 (研究担当規格役員 日本電気)
9:10~9:55	FORTRAN 8X	和田 英穂 (富士通)
9:55~10:40	Cの国際化機能 —休 憩—	猪瀬 武久 (日本電気)
10:55~11:40	COBOL の日本語機能	今城 哲二 (日立)
11:40~12:00	質疑および討論 —休 憩— 〔データベースの標準化〕	
13:00~13:45	RMDM (Reference Model of Data Management)	穂鷹 良介 (筑波大)
13:45~14:30	IRDS (Information Resource Dictionary System)	溝口 徹夫 (三菱電機)
14:30~14:50	質疑および討論 —休 憩—	
15:05~15:55	Database Language SQL	芝野 耕司 (東京国際大)
15:55~16:40	RDA (Remote Database Access)	鈴木 健司 (NTT)
16:40~17:00	質疑および討論	

情報技術標準化フォーラム「プログラム言語とデータベース」

参加申込書

年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記フォーラムの参加を下記によって申し込みます。

参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員および規格賛助員社員 8,500 円, 非会員 10,500 円, 学生会員 1,200 円

送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先: 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8

機械振興会館 308-3 号 情報処理学会 情報規格調査会)

b. 銀行振込

三菱銀行 虎ノ門公務部 普通預金 0022635

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

社団法人 情報処理学会 情報規格調査会 池田芳之

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください(この用紙のコピーで可)

平成元年度会費および論文誌・欧文誌購読費の 納入にご協力ください

去る 11 月下旬に、本年度会費未納の方には、郵便振替用紙によって、再々請求のお願いをいたしました。ご承知のとおり、会費は前納制 (すでに多くの方がたは納入済みです) ですし、会費納入の催促は手数や郵便料がかさみ、大きな負担となっております。事情をお察しのうえ、早急にご納入くださいますよう、よろしく願います。

〔預金口座自動振替の会員へ〕

去る 7 月 27 日の振替日に、残高不足等で振替未済の会員は、次回振替日が来年 3 月 27 日となります。会費が 1 年間滞納となりますので、振替未済の方は会員係に連絡いただき、早急に別途ご納入ください。

情報処理学会シンポジウム, 講習会論文集リスト

研究会名	論文集名	開催日	値段 (消費税込)	送料
(シンポジウム)				
NL	自然言語処理技術	88・1	¥ 2500	¥ 400
	談話理解モデルとその応用	89・11	¥ 3000	¥ 400
DBS	アドバンスト・データベース・システム	87・12	¥ 3000	¥ 400
	アドバンスト・データベース・システム	88・12	¥ 3000	¥ 400
	アドバンスト・データベース・システム	89・12	¥ 5000 (送料込)	
AI	人工知能システムの枠組み	87・11	¥ 3000	¥ 400
	学習のパラダイムとその応用	89・11	¥ 3000	¥ 400
SE	CASE 環境	89・3	在庫なし	
MIC	マイクロコンピュータの現状と将来	87・11	¥ 3000	¥ 400
	マイクロコンピュータとワークステーションによる 卓上出版とネットワーク	88・11	¥ 2500	¥ 400
ARC	コンピュータアーキテクチャ	88・5	¥ 3500	¥ 400
	並列処理 "JSPP 89"	89・2	¥ 4000	¥ 400
OS	コンピュータ・システム	87・11	¥ 3000	¥ 400
DPS	AI 技術適用による新情報通信サービスの展望と課題	87・11	¥ 2500	¥ 400
	マルチメディア通信と分散処理	88・12	¥ 2500	¥ 400
	マルチメディア情報と分散協調	89・11	¥ 3000	¥ 400
DPHI	計算機システムのヒューマンインターフェース	88・4	¥ 3500	¥ 400
CG	グラフィクスと CAD	87・12	¥ 3500	¥ 400
	グラフィクスと CAD	88・10	¥ 3500	¥ 400
	グラフィクスと CAD	89・11	在庫なし	
IS	利用者指向の情報システム	88・6	¥ 3500	¥ 400
	利用者指向の情報システム	89・12	¥ 3500	¥ 400
FI	1988 情報学	88・1	¥ 5000	¥ 400
	1989 情報学	89・1	¥ 5000	¥ 400
	1990 情報学	90・1	¥ 5000	¥ 400
CE	教育におけるコンピュータ利用の新しい方法	87・6	在庫なし	
	教育における知的方法	88・11	¥ 3000	¥ 400
	教育におけるコンピュータ利用の新しい方法	89・12	¥ 3500	¥ 400
講習会				
DT	AI 技術を使用した CAD システム	89・6	¥ 3000	¥ 400
DPS	コンピュータ通信ワークショップ	89・7	¥ 5000 (送料込)	
SE	ソフトウェア工学の現状と動向	88・6	¥ 3000 (送料込)	
	ソフトウェア工学の現状と動向	88・12	¥ 3000 (送料込)	
CG	幾何情報モデルの入手法	87・9	¥ 2500	¥ 400
	グラフィクスと CAD/CAM の標準化	88・9	¥ 2500	¥ 400
	立体視技術とその最先端応用	89・9	¥ 2500	¥ 400
PS	第 29 回プログラミング・シンポジウム	88・1	¥ 3000	¥ 400
	第 30 回プログラミング・シンポジウム	89・1	¥ 3000	¥ 400
	第 31 回プログラミング・シンポジウム	90・1	¥ 3000	¥ 400
PSS	究極のプログラミング環境	87・7	¥ 3000	¥ 400
	卓上出版	88・7	¥ 3000	¥ 400
	コンピュータネットワークのヒューマンウェア	89・7	¥ 3000	¥ 400

全国大会のバックナンバーもあります。問合せは総務の河本まで

Tel. 03 (505) 0505 Fax. 03 (584) 7925

支部だより

中部支部

講演会

日 時 平成元年12月22日(金) 13:00~15:30
 会 場 豊橋技術科学大学C棟2階会議室(豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘 1-1)
 演 題 ニューラルネットにおける汎化と学習可能性 上坂 吉則(東理大)
 参加費 無 料(参加資格は問いません)
 問合せ先 豊橋技術科学大学情報工学系 阿部健一 Tel. 0532 (47) 0111

日 時 平成2年1月12日(金) 9:15~10:15
 会 場 岐阜大学工学部 201 教室(岐阜市柳戸 1-1)
 演 題 人工知能と認知科学 太原 育夫(東理大)
 参加費 無 料(参加資格は問いません)
 問合せ先 岐阜大学工学部電子情報工学科 神保雅一 Tel. 0582 (30) 1111

日 時 平成2年2月9日(金) 13:15~15:00
 会 場 富山大学工学部大会議室(富山市五福 3190)
 演 題 高速高精度認識システムのアーキテクチャ 阿曾 弘具(東北大)
 参加費 無 料(参加資格は問いません)
 問合せ先 富山大学工学部電子情報工学科 米田政明 Tel. 0764 (41) 1271

本会協賛等の行事案内*

平成元年度 OR セミナー「シミュレーションの基礎技術とその活用」
 平成2年1月25日(木)~26日(金) 東京・日本アイ・ビー・エム(株)本社
 第28回 特別基金講演会「ファジィ理論と船舶運航システム」
 平成2年1月26日(金) 東京・船舶振興ビル
 第5回 OA 全国総合大会
 平成2年2月20日(火)~21日(水) 東京・虎ノ門パストラル
 PS JAPAN '90-'90 スイッチング電源システム展・シンポジウム
 平成2年2月27日(火)~3月2日(金) サンシャインシティコンベンションセンター TOKYO
 第2回 公開シンポジウム「医療における画像ファイルシステム」
 平成2年2月28日(水)~3月1日(木) 東京・東商ホール
 第1回「自律分散システム・シンポジウム」
 平成2年4月23日(月)~24日(火) 愛知厚生年金会館
 AI '90
 平成2年7月2日(月)~5日(木) 東京流通センター
 第14回 構造工学における数値解析法シンポジウム
 平成2年7月17日(火)~19日(木) 東京・建築会館ホール

* 詳細は本号会議案内欄参照

論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)および欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING”(略称 JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は本号 1540 ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

平成 年 月 日

論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

会員 No. _____

1. 氏 名 _____ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 _____)

Tel. _____

送本先 (〒 _____)

注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (____ 巻 ____ 号から送本希望)

b. 欧文誌 “Journal of INFORMATION PROCESSING” (____ 巻 ____ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ _____ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 ____ 月 ____ 日)

a. 現金書留 b. 郵便振替 c. 銀行振込 (____ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)